

分散効果の期待が高いインフラ市場 FTSEが提案するインフラ投資の新たな形とは？

— FTSE インフラストラクチャー・インデックス・シリーズ

年金基金をはじめ機関投資家の多くが、分散効果の高いアセットクラスとして注目しているのがインフラ市場だ。ただしファンド等を通じたインフラプロジェクトへの直接投資は流動性や透明性に難点があるため、投資をためらうところも多い。こうした問題を解決し、インフラ投資の新たなヒントとなる「FTSE インフラストラクチャー・インデックス・シリーズ」の魅力に迫る。

伝統的資産との相関性低く、 分散効果に期待

年金基金を含む機関投資家のインフラ投資は1990年代後半より始まり、2000年代には民間インフラ事業の拡大に伴い投資の裾野が拡大した。さらにリーマン・ショック前後から、従来の伝統的資産への配分だけでは分散効果が期待できなくなり、オルタナティブアセットの1つとしてインフラ市場が注目されるようになった。

インフラ市場の魅力は、株式、債券といった伝統的資産との相関性の低さだけでなく、景気サイクルとの相関性も低く、長期に安定的なインカムゲインが期待できることだ。このような特徴から、インフラ市場は長期に運用する年金基金に適したアセットクラスといえるだろう。最近では新興国へのインフラ投資が活発化しており、新興国の成長とともにインフラ投資することでその成長の享受を期待できるのも魅力だ。

配当利回り (2008/6/30 ~ 2011/6/30)

	11/6/30	10/6/30	09/6/30	08/6/30
FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー*	3.5	3.6	4.0	3.1
FTSE 先進国・コア・インフラストラクチャー*	3.5	3.7	4.1	3.1
FTSE エマージング・コア・インフラストラクチャー*	3.8	2.8	3.3	3.4
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 REITs	4.2	5.1	7.4	5.8
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 Rental	4.0	4.8	6.9	5.6
FTSE Kaigai (先進国 除く日本)	2.6	2.7	3.2	3.0
FTSE エマージング	2.7	2.4	3.1	2.4
FTSE Japan	2.1	2.1	2.2	1.7

*コア:売上全体の65%以上がインフラ関連の企業で構成します

ボラティリティ

	1Yr Vol (%pa)	3Yr Vol (%pa)	5Yr Vol (%pa)
FTSE グローバル・インフラストラクチャー	12.6	18.4	15.1
FTSE グローバル・インフラストラクチャー・オポチュニティー*	14.9	22.3	19.3
FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー	11.6	16.8	13.2
FTSE グローバル All-Cap	16.1	25.2	20.9
FTSE All-World	15.9	24.9	20.6

*オポチュニティー:売上全体の20%以上がインフラ関連の企業で構成します Source - FTSE Group, data as of 28th February 2011

インフラ・インデックスへの投資

ただしインフラ投資にはデメリットもある。第一に、通常の償還には10~15年程度の期間が必要になり、流動性に欠けること。第二に、それなりに大きな投資額が要求されること。第三に、少数プロジェクトへの集中投資になるため、政治リスク、災害リスク、プロジェクト自体の信用リスクが高いこと。第四に、プロジェクト内容や進捗状況などの情報開示に不安があること、などがあげられる。

こうしたデメリットを解決し、インフラ投資をしやすくするよう開発したのが「FTSEインフラストラクチャー・インデックス・シリーズ」だ。この商品は、インフラ市場から高収益を上げている上場株式を組み入れたインデックスとなっている。

インデックス運用の利点としては、①いつでも売買可能な流動性の確保、②多数銘柄へのリスク分散、③情報開示の高い透明性、といったメリットを享受できる。このインデックスをインフラ投資のベンチマークとして活用することも可能だ。

過去5年間の配当利回りを見ると、一般的な市場を代表する時価総額型のインデックスを安定的に上回っており、ボラティリティも低くなっている。

年金基金の運用にとって重要なアセットクラスとなっているインフラ市場について、うまく「FTSEインフラストラクチャー・インデックス・シリーズ」を活用することができれば、リスク分散した形で高いリターンを期待できるのではないだろうか。

8月9日(火)に、「FTSE インフラストラクチャー・インデックス」セミナー
 ~オルタナティブ投資におけるインフラ市場：その背景と投資機会~を開催いたします。
 同封の別紙にご案内がございます。ぜひご覧下さい。参加ご登録は、FTSE.jp よりオンラインでも可能です。

- FTSE Kaigai (先進国 除く日本)のパフォーマンスは先月末比で -2.38%となりました。
- エマージング市場は先進国市場に対して、0.23%アウトパフォームしましたが、対先月末比では -1.87%となりました。
- FTSE EDHEC Japan は FTSE Japan に対して 1.31%の超過収益を上げました。
- FTSE Japan バリュースは FTSE Japan に対して 1.18%の超過収益を上げました。

	銘柄数	時価総額 (兆円)	パフォーマンス実績(%)							配当利回り (%)
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	年初来	1年	3年	5年	
日本市場										
FTSE Japan	450	186.53	1.04	-2.21	-4.77	-4.77	3.20	-33.08	-41.92	2.14
FTSE Japan バリュース	450	94.10	2.22	-1.86	-5.85	-5.85	2.51	-25.30	-30.35	2.48
FTSE Japan グロース	450	92.43	-0.12	-2.58	-3.70	-3.70	3.84	-40.95	-52.32	1.80
FTSE GWA Japan	450	-	1.60	-2.17	-4.89	-4.89	3.24	-28.31	-36.43	2.33
FTSE RAFI Japan	243	-	1.13	-2.60	-5.67	-5.67	3.25	-28.83	-34.94	2.21
FTSE EDHEC Japan	450	-	2.35	-1.54	-2.24	-2.24	2.27	-21.16	-33.37	2.07
グローバル市場										
FTSE 先進国	2,063	2,191.98	-2.10	-1.83	5.30	5.30	19.82	-20.55	-17.68	2.53
FTSE Kaiagi	1,613	2,067.78	-2.38	-1.79	6.34	6.34	21.64	-19.15	-14.53	2.57
FTSE GWA Kaiagi	1,458	-	-2.37	-2.27	6.58	6.58	20.84	-18.07	-17.39	2.90
FTSE RAFI Kaiagi 1000	1,020	-	-2.48	-2.18	6.61	6.61	22.00	-12.99	-11.78	3.05
FTSE DBI Kaigai	1,613	-	-2.50	-0.94	8.10	8.10	22.43	-20.93	-4.71	3.54
FTSE EDHEC 先進国	2,063	-	-2.11	-0.35	7.36	7.36	23.82	-7.21	-6.73	2.37
FTSE 先進国 Net of Tax*	2,063	2,191.98	-2.14	-2.03	4.97	4.97	19.24	-21.80	-19.72	2.04
エマージング市場										
FTSE エマージング	800	307.29	-1.87	-4.20	-0.98	-0.98	15.07	-12.23	25.30	2.68
FTSE GWA エマージング	800	-	-1.87	-4.88	0.21	0.21	15.97	-7.35	-	2.89
FTSE RAFI エマージング	357	-	-1.83	-4.48	0.68	0.68	15.29	-6.49	43.13	2.98
FTSE EDHEC エマージング	800	-	-0.91	-1.01	1.58	1.58	23.42	13.64	69.37	2.94
オルタナティブ										
FTSE EPRA/NAREIT 先進国不動産	289	69.52	-3.05	0.31	5.62	5.62	21.71	-18.50	-23.94	3.64
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 REITS	199	50.08	-2.89	1.44	10.04	10.04	25.82	-16.60	-23.82	4.20
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 Rental	240	54.84	-2.80	1.83	9.88	9.88	27.11	-14.41	-22.06	3.99
FTSE グローバルコアインフラストラクチャー	144	82.75	-0.06	0.68	4.77	4.77	45.78	-9.94	-3.45	3.48
FTSE 先進国コアインフラストラクチャー	568	261.19	-0.97	-1.52	5.25	5.25	53.54	-18.55	-10.27	3.86
FTSE エマージングコアインフラストラクチャー	568	114.51	-0.41	0.15	5.18	5.18	41.96	-12.30	-5.98	3.57

*投資家(年金基金)に掛かる配当課税を考慮して計算されたインデックスです。

データ出典:FTSE Group 2011年6月30日付

責任投資

FTSE4Good ESG Ratings

国連責任投資原則(PRI)の原則の広がりや、英国におけるUK Stewardship Code - 英国受託者監督責任綱領(2010)の制定など、これまでにない世界の機関投資家の中で責任投資に対する注目が高まっている。

FTSEは2001年よりFTSE4Goodインデックスの提供を始め、社会的責任投資のパフォーマンス・ベンチマークとして、世界で幅広く利用されてきた。

2011年5月、FTSEはFTSE4Goodインデックスの選定基準を

日本における評価上位企業

会社名	ESG 総合スコア(0-5)	業種内評価(1-100)	業種 (ICB)
日本精工 (NSK)	4	96	自動車・部品
野村ホールディングス	4	95	金融サービス
ソニー	4	95	家庭用品
東京海上ホールディング	4	88	銀行
りそなホールディングス	4	87	銀行

基礎とした新たなサービス、「FTSE4Good ESG Ratings」のサービスを開始、E(環境)、S(社会)、G(企業統治)の各テーマにおける透明度の高い基準を設け、調査対象企業、約2400社(日本企業は約450社)が各々のESGリスクに対してどのように対処しているかを評価し、そのデータを提供。利用者は、リスク管理、企業調査、企業のESGベンチマーク、アクティブ・ポートフォリオ管理、マネージャー選択、さらには国連責任投資原則(UN PRI)への署名機関における投資先企業とのエンゲージメント等に幅広く活用することができる。

指数に関するご質問・ご相談は、下記までお気軽にお問い合わせください。

FTSE 日本オフィス
03-3581-2811
Japan@ftse.com

FTSE グループについて

FTSE グループ (FTSE) は指数の構築と管理において世界をリードする企業で、イギリスのフィナンシャル・タイムズ紙とロンドン証券取引所が共同出資する独立会社です。世界各地にオフィスをもち、ボストン、北京、ロンドン、フランクフルト、香港、マドリード、ミラノ、ニューヨーク、パリ、サンフランシスコ、シドニー、上海、東京をはじめとする、世界77カ国のお客様にサービスを提供しています。FTSE が算出・管理する指数は株式、債券、不動産、通貨や各種投資戦略を網羅し、それぞれ通常の指数に加えカスタマイズした指数の提供も行っています。また、FTSE は世界の数々の証券取引所、金融協会・団体と協定を結んでいます。

FTSE の指数は、世界の投資家より投資分析、ベンチマーク、資産配分、ポートフォリオヘッジ、また広範囲における指数連動ファンドの構築に使われています。www.ftse.com